

音の工房

おと の こう ぼう

matubaya-tushin
vol.17 2011.9.1

ウォルナットと
いたやカエデで作りました



松葉屋通信

だいすきな

この きよくを きこう

だいすきな いすに こしかけて

きこう

だいすきな ほんを ひらいて

きこう

ながれる おと

ころがる

おとの ゆくえ

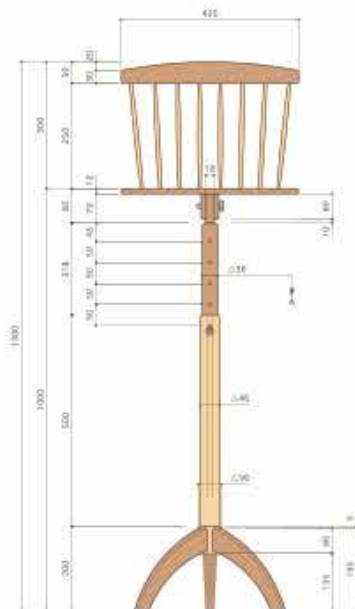
だいすきな たびが

はじまる

はじめ三角柱ボディを考えていたのですが、
いろいろ検討の結果、四角柱に。
エッジを面取りすることで、
なめらかでやわらかい仕上がりになりました。



昨年の秋ご注文をいただき、春にできあがりしました。「譜面台」です。
ご自身でフルートを演奏される時のものを、とのこと。
いつも松葉屋に明るい風を運んでくれる女性。
そんな軽やかな姿をイメージして。
できあがってきた譜面台をご覧になって、瞬間、歓声をあげてくださいました。
なんて嬉しいことでしょう！



手作りスピーカーを組み立ててみました

実は松葉屋の店内、昼間も夜中も、24時間ずーっと音楽が流れているのです。一枚板や、椅子や、ガラスの器も、みんなみんな音楽を聴きながら、眠りにつく。音楽と朝の光で目覚める。呼吸と音が、一緒に入ってきます。



「手許りのオーディオを作る」というフレーズにワクワクして、早速キットを購入、組み立ててみました。取り寄せたのは、コーンの素材がウツドのもの、マグネシウムコーンの2種、それぞれの音の違いを早く確かめたくて、気持ちはやります。

ウツドコーンの特長は、なににより音がやわらかいこと。今回使用したスピーカーはマルチレイヤーという方式を採用したもので、木材の素材の特性を残しやすい構造。この方式は成形性が良いため、薄い軽量の素材が使えるのです。振動板にとつて軽量であるというところは非常に重要で、音程の良さに大きく貢献しています。

木材シートは、サベリマホガニーという広葉樹系のものを使用しています。マホガニーはギター等の楽器でも使用されている材です。

マグネシウムコーンの最大の特長は内部損失が金属の中ではずばぬけて高いこと。内部損失が高いと、音がだらだら共振せずに出してくれます。このセットでは、マグネシウム合金(他の金属とマグネシウムを混ぜた素材)を採用し、ずっしりとした重さ。『太く、高域は金属の癖がなく』『分解能が高い』『マグネシウムの音色が楽しめます。ローブースト(低域のレベルが高い)型と呼ぶことができます。』

なんだか両手で持った感触もいい。やわらかな木の感触と大きさ。愛着がわきますね。



マグネシウムコーンスピーカー

ウツドコーンスピーカー

出来上がったスピーカーを遊べてみました。大きなウツドコーンのスピーカーと小さなマグネシウムコーンの音。どんな風に聞こえてくるのか、ホント楽しみ。

■覗いてみるだけでも楽しい。手作りオーディオやスピーカーに関するホームページです。

音工房Z(今回制作キットはこちらのもの) ■<http://z-sound.biz/>

PARC Audio(ウツドコーンスピーカーのメーカー) ■<http://www.parc-audio.com/>

サウンドアティックス(マグネシウムコーンスピーカー発売元) ■<http://www.atix.co.jp/index.htm>

VICTOR JAZZ CAFE(カフェの雰囲気やジャズや日本の楽しみ方をご提案) ■<http://jazzcafe.victor.jp/>



→ウツドコーン

←マグネシウムコーン

右は材料キット一式。箱を組み立てて、しっかりと固定します。組み立てのコーンなんたいつても重量水やをネジで出し、エンボス印を付けておきます。



まつの文庫

Music! Information

今回は、手作りスピーカーで聴きたい？
オススメのCDをご紹介します。



DG栄光の111年に燦然と輝く名盤たち

(輸入版)

ドイツ・グラモフォン創立111周年記念！

オリジナルカップリングの51ベスト・セラー・アルバムを厳選し、オリジナル・デザインの紙ケースにセットした圧巻の55枚組(収録時間3491分)です。

指揮者はフルトヴェングラーからドッダメル(小澤征爾さん指揮の死の舞踏も)まで、作曲家はバッハからラヴェルなど。また、バーンスタイン指揮のミュージカル『ウェスト・サイド・ストーリー』も楽しめる、あらゆる年代を網羅したクラシックライブラリーは「もうこれ以上ないっ」と思わせてくれる贅沢さです。しかもエディション1(レッド)に加えエディション2(イエロー)も!!聴く方も気合いの入るスーパーセットです。



松葉屋の本

ご希望の方にお分けしています。(残りわずかです、お早めにお問い合わせください)

音の楽しいくらし

みつけたものがたり

2010

春 ト 夏 ノオト

2010年の「春」に、松葉屋は1冊の本を作りました。

日常の、なにげないけれど、印象に残るできごと。

音、を感じるモノことのスケッチ。

まわりの人々に「ありがとう」を云いたくて、作った本です。

松葉屋家具店+くらし道具学研究所
〒380-0841 長野市大門町45
since1833@matubaya-kagu.com
TEL026-232-2346
FAX026-237-4558

☎ 0120-55-2346

(水曜定休)

©松葉屋家具店+くらし道具学研究所
Copyright © 2010 Matubayakaguten Co., Ltd
All rights reserved
Design & Text: * kai - pan



その2 ●
塗料を知る、塗装を知るための小冊子(前編)



その1 ●
木について詳しくなれる小冊子

小冊子をお分けしています。
松葉屋は、家具に用いられる「さまざまなもの」
についての小冊子を作っています。
その1
主材となる「木材」のこと。
その2
生活道具としてかかせない「塗料」のこと。
ご希望の方は、お気軽に左記までご請求ください。